



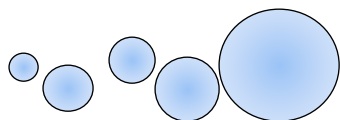
芝山小だより



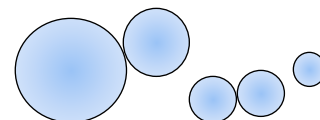
11月号

清瀬市立芝山小学校

校長 寺井 俊敬

<http://www.kiyose.ed.jp/>

トビウオのように



副校長 本間 章郎

10月も今日で終了し、明日から11月です。朝夕は少し肌寒くなり、秋の深まりを感じます。芝山小の校庭に立つ銀杏の木の実が一つ二つと落ちると、橙色の銀杏の実と緑の葉が美しい彩を見せています。

今年もあと2か月となりました。

さて、「トビウオ」という魚がありますが、「飛魚（飛び魚）」とも書き、その名の通り、水面から上の空中を飛ぶことができる魚です。地方によっては「あご」という名で呼ばれています。

トビウオは最高で、高さ10メートル（校舎を超える高さ）、距離は約400メートル（芝山小から清瀬郵便局辺り）飛ぶことができるそうです。魚とは思えないほどのパワーです。

しかし、そんなすごいパワーをもっている「トビウオ」も、急にそんなに高く遠くまで飛び上がれるわけではありません。水面の下を時速70キロメートルになるまで、泳いで、泳いで…、走り幅跳びのような助走をつけて、それから一気に飛び上がるのです。

芝山小の子供たちも10月1日の運動会では、毎日の練習に一生懸命取り組み、自分の力を発揮していました。毎日本気で練習に取り組む姿は、「水面の下」で準備して、じっくりと力をためながらスピードを上げていき、飛び上がる「トビウオ」のようです。

子供たちは、学校生活において様々なことを経験します。その経験を子供たち自身が自分の成長につなげていくためには、このじっくりの時期が大切なのです。さらに、このじっくりの心が必要なのです。誰も簡単に飛び上がることはできませんから、今、飛び立つための準備をしっかりとすること、こつこつとやっていく毎日の努力が大切です。子供たちには、じっくりと力をためる時を大切にしてほしいと思っています。「トビウオのように」次に飛び上がるのは、学校生活のどのような場面になるでしょうか。

今、子供たちは、日々の学習や生活をはじめ、音楽会に向けて一生懸命に取り組んでいます。

11月は「ふれあい月間」です

今年度2回目のふれあい月間を実施します。子供たちが、「学校生活で困っていること」や「悩んでいること」などについて、教員による日々の観察や指導に加えて、アンケートを通して聞き取ります。困り事や悩み事を把握することで、一人一人への支援、指導を行うとともに、いじめ等の未然防止や早期発見につなげて参ります。

